# ますも証券 創立70周年記念

# 第19回異業種交流会

伝えたい福井の音詩

NP0法人「楽衆玄達」コンサート



日時:2015年 4月14日(火)

会場:ユアーズホテルフクイ

福井市中央1-4-8 電話: (0776) 25-3200

会費:6000円

定員: 先着200名

福井が誇る自然や歴史・文化を音楽で発信 している「楽衆玄達」。

洋楽、邦楽などジャンルの垣根を超えて ミュージシャンが集結し、これまで5枚のCD をリリース。

2009年には(財)福井県文化振興事業団より 「野の花文化賞」を受賞。

三木さち子さんが直前に歌の内容をご説明。より親しみを持って曲を聞いて頂くことができます。

# 【演奏予定曲】

- お里
- ・歳月の木
- ・君にありがとう~「へしこ!!」主題歌~
- 義経哀歌
- 玄達かぞえうた
- 月わたる海
- 足羽川
- ・お市の方~北の庄

他

当日日程	
17:30~18:00	受付
18:00~19:30	「楽衆玄達」コンサート 朗読:三木さち子さん
19:30~21:00	懇親会 (演奏のメンバーも参加されます)



<sup>理事長</sup> 本禄和美さん



お申込みは: 件名を「異業種交流会参加希望」として、お名前、所属組織名、役職、ご連絡先をご記入の上、ますも証券総務部 somu@masumo.co.jp までご送信をお願いします。

参加申込みに際して頂いたお客様情報につきましては、社内にて名簿を作成するのみの利用とし、その他の目的では一切利用しません。

# ますも証券

商 号 等: 益茂証券株式会社

金融商品取引業者/北陸財務局長(金商)第12号加入協会:日本証券業協会/一般社団法人 金融先物取引業協会

お問い合わせ:ますも証券総務部 TEL 0776-22-7772



## お市の方~北の庄

作詞/杵屋栄美ゆき 作曲/森永康之 編曲/新保拓之

みどりの黒髪 情けに添いて むすぶ柳の 糸ながく 風になびくは 芙蓉の花か たわむれ遊ぶ 姫御前の てまりうたごえ 華やかに 北国の 北の庄には めでたかり

九十九橋から 眺むれば 峰の松風 ふくいくと 足羽の山や 足羽川 千代もと祈る 笏谷の 緑の石垣 影さして 今 いくたびか 春にあふべき さらぬだに うちぬる程も 夏の夜の 別れをさそふ ほととぎすかな

夏の夜の 夢路はかなき 跡の名を 雲井にあげよ 山ほととぎす

万代かけて ちぎりきな 親子のえにし はかなくも 落ち行く先は 愛宕山 返り見すれば うたかたの この世の栄華 夢見て

九層七重の天守閣 ぐれんの炎 ほづつのうち うつせみの玉の緒たえて 後の世の人は語らむ 北の中

### お里

作詞/木村慶 作曲/森永康之 編曲/新保拓之

からりからころ 下駄かけて 養屋のお里が いそいそと 寺町ぬけて 正善町へ 日傘傾げて まいります 愛しいお方は お出かけか 店の手代が 首を振る 柳町では 蝉時雨 やしろに腰かけ もの憂げに 思いの髪に 風抜けていく

しゃなりしゃなしゃな 絹の帯 蓑屋のお里が 急ぎ足 七間上がって 元町下り 愛しいお方に 逢いにゆく 今日も帰らぬ 帳場に見えぬ 小僧さんにも 睨まれる 毘沙門橋から 裏道へ 山王神社に願かける 今日は夜祭り 香が舞う

ちろりちろちろ 風鈴の 音も悲しき 夕闇に お方に逢えぬ 日が暮れる 石灯籠には 灯がともる

横町 木町 日吉町 本願清水に たたずめば 祭ばやしが 風に乗り 水面を照らす 赤い月 糸の魚が きらりと光る





# 歳月の木

作詞/金田久璋 作曲/森永康之 編曲/田崎栄爾・TAKUTO

庭に一本の ハンノキがある 生まれたばかりの 子のために 手ずから父が 植えた木で わたしがひとつ年をとる 木がひとつ歳をとる 木がひとつ年かさねるごと わたしも歳をかさねる

真夏の日盛りに 三十の歳月が 庭に涼しげな 木陰をつくってる 庭に一本の ハンノキがある金輪際さっぱりと あの世へわたしを送り出すためにその日のうちに切り倒されて一駄の薪となる谷あいの茶毘のけむりがひっそりと そそり立つ

真夏の日盛りに 濃い木陰をつくり その影のしじまから 午睡のひとときを 出たり入ったり 夢うつつまどろむ眼で わたしは見ている わたしを見ている

めになることが、 の経営者にとって、こうした出会者の多くを占める中小・零細企業 る」と、交流会を評価する▼参加を学べ、こちらの経験も伝えられ 専門店の女性専務は ▼今回、二回目の参加という造花 価も 益永さんは今後も交流会を継続し 拓につながる」。 った美容室の経営者とブライダル ではなくなり、一〇年七月の第十 演や懇親会が催されてきた。 企業の経営者らを講師に招いて講 六回を最後に中断した▼それから を超す人気行事に▼ところが、○ 、年九月のリーマン・ショックで ョーを開くことができた」。 価が暴落。異業種交流会どころ 開催は二〇〇四 ビジネスチャンスに結び付けば にもかかわらずほぼ毎回二百人 二十人弱の参加だったが、 という強い要望があったかり回復し、ぜひ交流会を開い 回の特定社会保険労務士の 期待にあふれていた▼第一 「業界のしきたりや経営哲学 今年六月に復活した。「株 一回のペースで、県内トッ 会。どの顔も、 会長の益永哲郎さん(宝と) 十八回目を迎えた益茂証 は、名刺交換する二百福井市内のホテルの会 その信念の下、 年。以来、 地元企業のた 「前回知り合 新しい交流 最初 プ年回